

「今伝えたい、人との関わりの大切さ」

愛知県立春日井高等特別支援学校 二年

山本 瑞樹

私は、薬局へ実習に行きました。仕事内容は主に、商品棚の清掃と前出し、食品の賞味期限チェックや商品の品出しでした。実習に行く前に自分の目標を立て、私は自分だけの意思で行動しがちなので、状況を考え、報告と質問をすることを目標にしました。しかし、実習に向かう前に自分は正直周りになじみながら作業ができるか、人とうまく関われるかが心配でした。

実習中嬉しかったことは、10箱ぐらいあった品出しをする商品を午前中に全て品出しできたことです。品出しの作業は1人ではなく、一緒にやる人もいたため、どこから商品を入れていくかを相談しながら作業しました。また、在庫が多過ぎて入らなかった商品をカゴに置いている時、「これは棚に入らなかった商品です」と声をかけ、別の人がその余った商品に手をつけ、また探させることがないようにできました。また、自分が品出しが終わって、一緒に作業をやっている人がまだ終わっていない時に、「その商品の場所はここにあると思います」と声をかけ、一緒に手伝い、作業ができたので、自分もいつの間にか人に声をかけながら作業ができるようになったと思います、ちよっとした成長を感じました。

大変だったことは、商品の品出し中、どうしても置き場所が見当たらない商品があったことです。どれだけ探してもなかったので、店員さんにも手伝ってもらいましたが、それでもありませんでした。ですが、よく見たらその商品が置かれるべき棚に、見ただ目はかなり似ている別の商品が置かれていた事に気づき、その事を伝えたら、「じゃあ、これと交換しておいて」と言われ、品出ししていた商品を棚に置きました。

五日間の実習を通して、たくさんのことを学びました。その中で特に重要だと思ったのは、相談・質問をしていくことです。ただただ分からないことをそのままにして作業をしても、それが間違っている事があるかもしれませぬ。なので、分からない

ことがあった際に周りほどのようにやっているか、ミスをした際にはどうすればいいのかを自分から質問・相談して、自分の作業方法にとりこむことで失敗やミスの軽減につながっていくという考えを忘れることなく、これからの学校生活に活かしていきたいです。

また、人と協力して声をかけあい、作業したことにより、はやく作業が終わったことや、すれ違うお客様に挨拶をして、挨拶を返してもらえたこと、自分が実習にきていることを分かっていたらいいとお客様や店員さんに「頑張ってるね」「おつかれ様」と言ってもらえたことも強く心に残っています。それらはこの実習で学べた、「人と関わる大切さ」の一部だと、ふと思いました。なので、私は将来、人と関われる仕事につきたいと思いました。